

かすかべのういんナビ

第75回全国植樹祭についてご紹介します!



▲越谷市で行われた第75回全国植樹祭1年前記念イベントの様子
(大野埼玉県知事と福田越谷市長)

人・森・川 つなげ未来へ 彩の国



第75回 全国植樹祭 埼玉 2025

第68号 令和6年9月17日発行
埼玉県春日部農林振興センター
〒344-0038春日部市大沼1-76
電話：048-737-2134 FAX：048-734-1344



埼玉県春日部農林振興センター
Instagramアカウント
「おいしい! きれい!
埼玉地域とれたて旬情報」





全国植樹祭まであと1年をきりました!

■ 全国植樹祭とは

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために開催される、国土緑化運動の中心的行事です。

埼玉県では、昭和34年の第10回以来66年ぶりとなる第75回全国植樹祭を、令和7年5月25日(日)に開催します。

秩父ミュージックパークを主会場に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、県内外からの多くの参加者と共に、式典行事や記念植樹が行われる予定です。

■ 全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」(右写真)

木製地球儀は、第52回山梨県大会の際に植樹祭のシンボルとして製作されました。森林・林業がさらに重要な役割を担うことがイメージされ、「国民」「企業」「行政」が一丸となって3者の手で支えていく姿を「3枚の葉」で表現し、地球はヒノキ、葉はナラ、基台はケヤキで作られています。

令和6年5月の第74回岡山県大会において、岡山県知事から埼玉県知事が引き継ぎ、6月に越谷市で開催された1年前記念イベントを皮切りに、現在県内市町村で巡回展示されています。

この他にも全国植樹祭のPR活動が県内各地で行われています。詳しくは第75回全国植樹祭のホームページを御覧ください。



第75回全国植樹祭公式HP

管理部



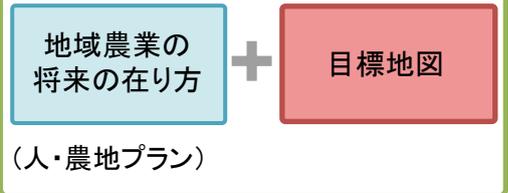
「地域計画」について ～地域農業の将来について話し合いましょう～

■ 地域計画とは

令和5年に農業経営基盤強化促進法等の改正法が施行され、市町村は市街化区域を除いた区域を対象に地域農業の将来像を示す「地域計画」を令和7年3月末までに策定することとなりました。

地域計画では、地域の農業者、市町、農業委員会、JA、土地改良区、農地中間管理機構、県などが話し合い、誰がどの農地を利用していくのか、一筆ごとに決める目標地図を定めます。

地域計画



目標地図に載ったとしても、すぐに権利設定されるわけではありません。

■ 地域計画の実現に向けて

策定した地域計画は、実現に向けて実行することが大切です。

地域計画の実現に向けて、次の世代に良好な農地を着実に引き継いでいくため、担い手が農地を使いやすいよう農地中間管理事業を活用し、農地の集積・集約を進めていきます。

なお、市町村が作成する農用地利用集積計画に基づく利用権設定は廃止となりました。ただし、経過措置期間として令和7年3月末までは、新規及び更新の契約が可能です。利用権設定の廃止にかかわる手続きについては、市町にお問い合わせください。

これまで地域の皆さんが守り、魅力ある作物を作ってきた農地を、次の世代に引き継いでいくためにも、地域一体となって地域計画の策定・実行に取り組んでいきましょう。

地域計画は、地域農業の実態に応じて随時更新が可能です。徐々に完成度を高めていきましょう。地域計画の区域や目標地図に位置付けられた経営体には、様々な支援措置があります。

地域支援担当



緑のヘルシーロード・水と緑のふれあいロード

■ ヘルシーロード・ふれあいロードについて

見沼代用水路及びその支線用水路沿いに整備された「緑のヘルシーロード」と「水と緑のふれあいロード」は、埼玉県を縦断する全長約99kmの自転車・歩行者用道路です。

皆さんも自然豊かな風景を味わいながら、サイクリングや散歩、周辺の史跡巡りなどを楽しんでみてはいかがでしょうか。

■ 御利用の皆さまへ

ロードは、農耕車の通行も可能となっています。自転車を御利用の方は、歩行者に注意し、スピードは控えめに走行をお願いします。皆さんが安心・安全に楽しむことができるよう、交差点ルールとマナーを守って御利用ください。

■ より利用しやすい施設を目指して

当センターでは、ロード利用者の安全を確保するために定期的な巡視を行い、異常箇所の発見に努めています。その巡視結果を基に、ロードの補修を行っており、今年度は緑のヘルシーロード（蓮田市内）の防草コンクリート工事を行っています。

今後もより多くの方に快適にロードを利用していただけるよう、管理を行って参ります。



▲ヘルシー・ふれあいロード位置図



▲緑のヘルシーロード（蓮田市内）
防草コンクリート工事完了箇所

整備支援・管理担当



農地防災事業「古利根堰地区」のご紹介

■ 農地防災事業について

農地防災事業は、地域の皆様の安全を確保し、農業用水の安定供給を図ることを目的に、取水堰や水路、揚排水機場といった農業用施設及び農地において、自然災害などへの対策を行うものです。

■ 古利根堰地区の現状

古利根堰は「大落古利根川」内に位置する農業用水の取水堰です。昭和60年度に改修されていますが、現在の耐震基準に適合させるための対策が必要です。

大地震により堰が被害を受け、操作が不可能になると、周辺地域に甚大な被害をもたらすことが予想されるため、令和3年度から事業により耐震工事を行っています。

■ 今年度の取り組み・工事の予定

今年度の耐震工事では、ゲート2門（中央、左岸側）の更新を行います。堰の工事のため、雨の少ない10月頃から3月までの短い期間に、河川を締切り、川の底や堰が乾いた状態にして工事を実施します。

騒音・振動等に留意して工事を進めますので、引き続き御理解と御協力をお願いします。



▲工事前 上空写真



▲工事中 上空写真

県営事業担当



県育成水稻新品種 「えみほころ」現地視察会を開催

■ 県育成水稻新品種「えみほころ」

埼玉県が育成した「えみほころ」は、高温登熟性が「強からやや強」、良食味の中晩生品種です。

出穂期及び成熟期が「彩のきずな」と「彩のかがやき」の間であるため、作期分散が期待されています。収量は「彩のきずな」、「彩のかがやき」と同程度で、イネ縞葉枯病に抵抗性を有しています。

■ 「えみほころ」現地視察会

7月5日に現地視察会を開催し、管内の各農業協同組合、各市町等の関係機関とともに実証展示ほ6か所を巡回しました。各実証展示ほの田植時期が異なるため、草丈や茎数の違いはありましたが、全体として生育が順調に進んでいることを確認しました。

今後も「えみほころ」の生育調査や収量調査を行い、得られた結果について情報提供を行う予定です。
※「えみほころ」：品種登録出願公表中（令和4年7月26日公表出願番号36133）



▲現地視察会の様子

技術普及担当



令和7年度埼玉県農業大学校学生募集!

■ 埼玉県農業大学校とは

埼玉農業の未来を担う農業者や関連産業の担い手を育成するため、埼玉県が設置している専修学校です。

■ 農業大学校に関心がある方は

オープン見学会が開催される予定です。

開催日は10/6（日）、10/20（日）、11/4（月）、12/15（日）（午前は見学会、午後は個別相談会）。実際に大学校の施設やほ場を見たり、学生生活の様子や卒業後の進路状況について聞いたりすることができますので、関心のある方は、ぜひ御参加ください。

■ 農業大学校の学生募集概要

各専攻の募集人員、入試区分、出願期間は下表のとおりです。

学科	修業期間	専攻	募集人員	計
野菜	2年 (2年課程)	施設栽培・露地栽培	30人	90人
水田複合		水田複合	5人	
花植木		花き・植木造園	15人	
酪農		酪農	5人	
短期農業	1年 (1年課程)	短期野菜 有機農業	35人	

学科	入試区分	出願期間	試験日	合格発表	試験方法
野菜 水田複合 花植木 酪農	推薦入試	R6.10.1(火)~10.10(木)	R6.10.29(火)	R6.11.5(火)	小論文、面接
	一般入試	R6.11.1(金)~11.10(日)	R6.11.28(木)	R6.12.5(木)	国語(現代文および小論文)、数学I、面接
短期農業	推薦入試	R6.10.1(火)~10.10(木)	R6.10.29(火)	R6.11.5(火)	小論文、面接
	一般入試	R6.12.10(火)~12.20(金)	R7.1.9(木)	R7.1.16(木)	

*詳しくは、募集要項（農業大学校HPまたは農林振興センターで入手）を御確認ください。



農業大学校HP

新規就農・法人化担当